

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	大分大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	オオイタダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	九州地方
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	建築設計インターンシップ
	学部・研究科等名	工学研究科
	担当教職員名・役職	理工学部学務係
要素①	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	2
	受入企業等数	16
	受入企業等名	(株)あい設計, (株)佐伯建設, 藤丸建設(有), (株)アネシス, 梅林建設(株), (株)平野工務店, (有)アーバンビジョン建築事務所, DABURA, M(株), (株)塩塚隆生アトリエ, (株)PAL構造, (株)博設計, (株)熊谷組九州支店大分営業所, (株)稲永建築設計, (株)盛本構造設計事務所, 上村建設(株)総務部, (有)岩質住宅
	インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ 7.大学院生を対象とした研究インターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	現場実習
	要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。
2-2.該当するインターンシップの内容		3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)		
2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)		修士1年次
2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)		4単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)		実習期間等により付与される単位に異なる。15日間4単位
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	社会人としてのマナーや守秘義務の遵守等について研修会を実施(1回)、自己評価表の作成、前年度インターンシップに行った学生の体験談の場を設ける等。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	日報と自己評価表で実習の体験を振り返りを行い、企業担当者を招いた報告会で成果・体験の発表を行っている。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	モニタリングは実施していない。	

要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップの実施 前後で自己評価表を作成し変容の把握をしている。実施後は日報を用いて成果・体験から今後の課題を認識するような指導を行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	15日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	梅林株式会社において、15日間(120時間)のインターンシップを行っている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業等を招いて報告会を実施、実習中は学生が日報を記入し、受け入れ先に評価してもらう。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途提出済み
問い合わせ先	大学等名	大分大学
	担当部署名	理工学部学務係
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	097-554-7757
	メールアドレス	kogakumu@oita-u.ac.jp